

静岡県立大学 看護学部 看護学科 学校推薦型（公募制）

私は高校1年生の時から静岡県立大学の看護学部に入ることを視野に入れていました。そのため、週テストや定期テストで良い点を取って内申点も高くなるよう頑張ってきました。その他にも英検の2級、準2級の取得をしました。私は理系の特進クラスで過ごしてきましたのですが、苦手科目が数学と理科でした。なぜ理系を選んだのか疑問に思うかもしれませんが理系にすることで数学と理科に関わる時間が圧倒的に多いので、結果的にそれらから逃げることが少なくなったと感じています。そのため、苦手科目の完全な克服とまではいかないけれど理解するために努力できるようになり、理系特進クラスを選んで良かったと思っています。

静岡県立大学看護学部の試験内容は志望理由書などの書類審査、英語の筆記試験、数学の口頭試問、個人面接がありました。入試日は12月1日でした。英語の対策は9月後半頃から始め、10年分程の過去問や様々な長文問題をやりました。それを先生に採点、解説していただきました。長文を読むスピードを上げるために単語力をつけることと常に制限時間を設けて解くことを意識していました。数学の口頭試問ではまず教科書の問題を完璧に解いて説明ができる、公式の詳しい理解ができるという状態になるようにしました。その後黄色チャートの出題範囲をひたすら解きました。10月後半から担当の先生と7分間の口頭試問練習を1日に3〜4問、週に2回程行いました。口頭試問では、問題が解けるだけではいけなく、なぜこの公式を用いたのか、この問題の説明時に忘れてはいけないキーワードは何かなどを考えることが大切だと思います。面接練習ではまず面接ノートを作り、その後10月頃から担当の先生と友達と一緒に10分間の面接練習をしました。最初は上手く言葉が出てこなかったり、答えているうちに聞かれたことを忘れて焦ったりと不安でした。絶対言いたいことが定まったり、1つの質問に対する答えの内容の質が上がったりするためには先生にお願いし、何度もやってみるのがとても大事だと感じました。また、県大看護学部の本番は志望理由を聞かれずいきなり個人の質問からだったので私は少し焦ってしまいました。練習とは違う感じになるかもしれないということを頭に入れておくべきだと思います。さらに笑顔で大きな声でゆっくり話すということを練習から意識した方が良いと思います。面接官はとても優しく、話の中で互いに笑うこともあったので本番はきっと楽しみながら話せるはずです。本格的な受験シーズンに入る9月頃から不安や焦りが特に大きくなると思います。それらが完全に消えることは難しいと思いますが、とにかく全力で勉強することで自分自身への自信も少しずつついてくるはずです。受験当日は終わった科目のことなどは振り返らず次のことのみを考えて過ごすことが本当に大切です。自分なりの勉強のモチベーションを見つけて頑張ってください。皆さんのことを応援しています。